

開催日時	2020年11月9日(月) 10:00-17:30オンライン配信 (9:30よりツールレクチャーあり)
カテゴリ	事業戦略策定・事業戦略評価 業務遂行スキル ヒューマンスキル
DXリテラシー	Why(DXの背景) Mind(マインド・スタンス): デザイン思考/アジャイルな働き方
講師	竹政昭利 氏 (株式会社オーグス総研 ビジネスイノベーションセンター エグゼクティブコンサルタント) 1985年中央大学法学部法律学科卒業後、独立系IT会社にてAI(人工知能)関係のシステムの開発に従事。 1994年株式会社オーグス総研入社後はオブジェクト指向システムの開発を中心にコンサルティング、開発者向けトレーニング、セミナーの講師を行う。 1998年よりUML技術者認定制度の立ち上げ及び運用に携わり、 2003年にUMLモデリング推進協議会(UMTP)が設立してからは、UMLモデリングの普及活動を行っている。 また最近では、企業へのソーシャルメディアの導入、IT資産価値評価などの活動を行い、デザイン思考の導入に注力している。 ■資格: 情報処理特種
参加費	J U A S 会員/ITC: 33,800円 一般: 43,000円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信 (指定会場はありません)
対象	業務経験数年の若手~組織を率いるベテランまで (情報システム部門・情報システム子会社、SIer等) ・システム開発の上流工程において真のユーザーニーズを獲得したい方 ・デザイン思考のプロセスを経験してみたい方 ・デザイン思考を仕事に取り入れようと思っている方 初級
開催形式	講義、グループ演習
定員	16名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
特記	◆9:30より本セミナーで使用するツールのレクチャーを行います。 ZOOMの基本操作、当日演習で使用するツール「MURAL (GoogleChromeでの操作推奨)」の操作について ◆事前にご準備いただくもの ・A4 用紙 5枚 (画用紙・小さいホワイトボードなどで可) ・ポストイット (75×75) 20枚 (同じ色でも可) ・太めのマジック お申込み後マイページより受講票をダウンロードして内容をご確認ください。
ITCA認定時間	6.5

主な内容

オンラインライブセミナーについて、本ページ下部にご案内いたします。お申込の前に、必ずご確認ください。
本講座は、Zoomを使って、講師との双方向でのやりとりを頻繁に行いつつ、ワークショップ形式で進めます。

<<参加者の声>>

- ワークショップが中心で良かった。ブレインストーミング後の修正方法や、ビジネス適合方法などまで学ぶことができ有意義だった。(消費財製造業)
- ワークショップの時間が多かったので、実感を持ちながら受講できた。(情報通信業)
- 詳しい説明とワークショップでデザイン思考がどういう物かが理解できた。ワークショップも多く、直感的に理解できるのでデザイン思考がどういったものかを理解しやすかった。(サービス業系情報子会社)
- デザイン思考という考え方のフレームワークを分かりやすく教えていただいた。(住宅設備製造業)

本コースでは、ビジネスや社会に変革をもたらすイノベーションを達成する手法・考え方の1つとして、「デザイン思考」について学びます。「デザイン思考」は、Appleのマウスなど画期的なプロダクトデザインしたことで知られる米国のデザインファームIDEOのイノベーション手法です。

デザイン思考は、アジャイル開発の考え方と親和性があり、IT技術者にとっても必須の技術となりつつあります。本コースは、スタンフォード大学デザインスクール(「d.school (Institute of Design at Stanford)」)に準拠したデザイン思考の次の5つのステップに従って進行します。

「共感」「問題定義」「創造」「プロトタイプ」「テスト」

それぞれのステップの概要を押さえたうえで、ワークショップを交え、IT技術者にとっても無理なく、デザイン思考の基礎の習得を目指すとともに、実業務に生かしていく上での実践的な思考技術の体得を目指します。

システム開発の上流工程において、真のユーザーニーズを獲得したい方、デザイン思考を取り入れたいとお考えの方、必見のコースです。

<<内容>>※内容は変更する場合がございます。

(1) イノベーションとデザイン思考

デザイン思考とは・論理的思考と創造的思考・イノベーションの 実現法
・事例・次世代高度IT人材・システム開発へのデザイン思考導入

(2) 【Step】 共感

行動観察・インタビューテクニック・WS（インタビュー）

(3) 【Step】 問題定義

個人を焦点をあてる・具体的であることは知識を総動員する・真のニーズを探る
・記憶に焼きつくアイデアの6原則共感マップ・真のニーズを探る
・着眼点（POV-Point Of View）・WS（共感マップ）・WS（POV）・WS（課題選択）

(4) 【Step】 創造

ブレインストーミング・イノベーションと多様性-集合知・アイデアを選択・
発展・WS（個人アイデア出し）・WS（ブレインストーミング）・WS（個人アイデア選択）
軸の発見とバイアスを壊す・WS（個人軸（バイアス）を探す）・WS（グループ軸（バイアス）を探す）
・WS（ブレインストーミング）

(5) 【Step】 プロトタイプ

プロトタイプの重要性・素早く失敗する・プロトタイプの種類、 発展
・プロトタイプで確認すること・WS（プロトタイプ作成）

(6) 【Step】 テスト

プロトタイプを使ってのアクティングアウト・ユーザを観察する・ユーザと会話する
・フィードバックマップ・WS（アクティングアウト）・WS（フィードバックマップ）

(7) ビジネスモデルキャンバス

ビジネスモデルキャンバス・ビジネスモデル・キャンバスとの関係
・WS（ビジネスモデルキャンバス）

(8) まとめ

<<JUASオンラインセミナーについて>>

- ・講師は自宅/会社環境からリモートにて配信しております。
そのため、生活音、雑音が入る可能性があります。予めご了承ください。
- ・データテキスト配布については各案内をご確認ください。
- ・紙媒体のテキスト配布はございません。
- ・ご受講に必要なPC等のハードウェアや通信環境は、ご受講者様ご自身でご用意ください。
- ・動画や画像、音声の撮影、録画、録音は一切禁止とさせていただきます。
- ・キャンセル規定は「JUASセミナーキャンセル規定」と同様になります。

<<ライブセミナーご受講に際してのご注意>>

- ・ツールは、ZOOM (<https://zoom.us/>)、MURAL (GoogleChromeでの操作推奨/<https://www.mural.co/>) 利用いたします。
- ・ZOOMミーティングID・PWは、ライブセミナー開催日前に受講票にてご案内いたします。
- ・ブラウザまたは、ZOOMをダウンロード（無料）したPCをご利用ください。

ZOOMの紹介>>><https://zoom.us/>

ZOOMダウンロード>>><https://zoom.us/signup>

・ご参加いただくブラウザによって、制限がある場合がありますのでご注意ください。

・推奨ブラウザ：Google Chrome

(Internet Explorerのブラウザ版では、一部機能の制限があり、受講が難しい可能性があります。)

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/214629443>

初めてZOOMをご利用になる場合は、事前に接続テストを実施してください。

下記をクリックするとZoomの接続テストページにジャンプします。

<https://zoom.us/test>

・ユーザー名は、「お名前（漢字フルネーム）」に設定してください。

・セミナー当日は、15分前から受付開始いたします。待機室に入ってお待ちください。事務局にて、お名前を確認させていただきます。

・ご参加の方には自己紹介（顔出しを含む）をお願いしております。皆様が不安を感じない環境で開催をするための対応となりますのでご協力ください。

・服装はビジネスカジュアルをお願いいたします。

・飲食は自由ですが、雑音やマナーにご配慮ください。

・講座によって、ご発言していただく場合や各ツール機能を利用する場合がございます。講師の指示にあわせて操作や切り替えをお願いいたします。また、ご参加時の環境にご配慮ください。